



春木中学校だより

令和2年12月21日 12号

岸和田市立春木中学校長

学校教育目標 「よい社会人となるように育成する」

『車いすダンス芸術鑑賞公演』

12月11日(金)にジェネシスオブエンターテイメントをお招きして、車いすダンス芸術鑑賞公演を開催しました。毎年2年生を対象に行っている行事で、今年で3年目になります。ジェネシスオブエンターテイメントは、車いすダンスを障がい者の「生きがい」から、自分で生活を支えるための「職業」に変えることを目標にした一般社団法人です。数々の受賞歴を下記にまとめましたが、理事長の坪田さんによると決して平坦な道のりではなかったといえます。また、メンバーの一人一人も様々な困難にぶつかりながら、今に辿り着いた人達です。その中の1人「あんちゃん」は、生まれながらの障がいを理由に酷いいじめに合ったそうです。命を絶とうとまで考えたそうですが、それでも1人の友と出会い、その子をきっかけに仲間が増えて、再び生きる力を得たといえます。いじめは許せないという思いとともに、仲間の大切さを改めて感じました。春木中学校の生徒にも、友を思いやれるこんな人に育ってほしいです。



車いすダンスは、障がいのある人がない人に支えられる関係ではありません。それぞれが自分の良さを発揮して1つの作品を創ることを目標にしています。そのため、車いすのダンサーとそうでないダンサーと一緒に踊ります。照明や煙幕などの演出、美しい衣装、ダンスの技術のどれもが本物です。「共に生きる」だけでなく「共に創る」素晴らしさを学びました。

今回の公演では、7人のメンバーが来てくれました。そのメンバーが口を揃えて、「春木中学校の2年生の鑑賞態度は素晴らしい。」「おかげでいつも以上に良い演技ができた。」と絶賛していました。「芸術は創り手と受け手の間に生まれる」といいます。生徒のみなさんの鑑賞態度があつた時間を創ったのですね。お褒めの言葉を心から嬉しかったです。

【2021 ジェネシスオブエンターテイメントプロフィール】

ジェネシスオブエンターテイメントは1997年に設立し、車いすダンスなど文化芸術活動を通じて、障害のある人が、車いすダンスを「生きがい」から、自分で生活を支えるための新しい「職業」へとしていくことを目指して活動している市民活動グループです。

- ・1999年(財)読売光と愛の事業団 第19回福祉活動奨励賞を受賞
- ・2006年大阪府草の根人権活動奨励賞を受賞
- ・2007年第33回産経市民の社会福祉賞を受賞ほか
- ・2010年第4回大阪商工信用金庫社会福祉賞 奨励賞を受賞
- ・2013年より文化庁との連携により大阪府などの小中学校へ車いすダンス芸術鑑賞で訪問する活動を開始。
- ・2016年6月総理官邸にて、日本ではじめて車いすダンスを披露。
- ・2017年9月奈良県国民文化祭・障害者芸術祭 皇太子同妃両殿下の御前にて車いすダンスを披露。
- ・2018年「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰
- ・2019年 2018 ジャポン×フランスプロジェクト ジャポニスム 2018 響きあう魂 フランスパリ公演
- ・2020年 2020 ICU 世界チアリーディング選手権大会アダプティブアビリティユニファイドヒップホップ部門日本代表として出場予定。活動22年目に入り、世界車いすダンススポーツ選手権大会8位、アジアチャンピオン、2014インチョンアジアパラリンピックへ日本代表選手を輩出している。
- ※ 2016年より当会代表坪田建一が文化芸術 立国実現に向けた文化庁長官アドバイザーメンバーを拝命。

『冬季休業中の連絡体制について』(重要)

現在、生徒及び同居のご家族等がPCR検査を受検した(予定を含む)場合や濃厚接触者に特定された場合は、速やかに学校へ連絡していただくようお願いしているところです。冬季休業中に上記が発生した場合は、1月4日に春木中学校へご連絡をお願いいたします。